

## 子育て支援医療助成制度あり方検討会議（第1回）における主な意見

## ◆現行の子育て支援医療制度について

- ・府は他府県に比べて、手厚い方ではないかと思う。
- ・本来は、国が一律に制度化すべきである。
- ・国保の国庫負担金減額調整措置（ペナルティ）の廃止が必要である。
- ・京都市の府助成制度に対するプラスアルファが少ないと感じる。

## ◆現行制度を取り巻く医療体制について

- ・過去には、コンビニ受診による小児科医の負担が問題とされたが、少子化や休日診療所の整備、小児救急電話相談事業等の府施策により、小児科医の負担は減っている。

## ◆制度の方向性について

- ・府内同一水準とし、3歳～中学生までの自己負担上限額を、3歳未満と同様に200円としていただきたい。
- ・府において、できるだけ財源負担をお願いしたい。
- ・市町村の制度が底上げになるということは大切である。
- ・財政負担はあるが、助成の水準を底上げすることが、理想である。
- ・拡充の方向ということであれば、ありがたい。
- ・早期に拡充できるよう、検討を進めてほしい。
- ・利用者からは、現物給付を希望する声がある。
- ・制度として運用することは難しいかもしれないが、収入に応じて助成額を設定するのが公平であると思う。
- ・京都市での上乘せ措置は、財源も必要となり、簡単にはいかないと思うため、府において、拡充を検討されるのが良いのではないかと思う。

## ◆検討にあたっての留意点等について

- ・市町村独自の制度充実が一つの売りになっている面もあり、その売りが薄まるがために、新たな子育て支援施策にも繋がることも考えられる。
- ・上乘せ措置をしていない市町村は少ないが、府制度の拡充で市町村負担が増えるところも出てくる。
- ・各市町村で、様々な子育て支援施策が実施されている中、医療助成制度が総合的にみて、効果があるのかどうかといった視点が大切と思う。
- ・府の制度の上に、市町村がフリーハンドで、状況に応じて手当していくということが、本当の意味で良い府民サービスに繋がるものと思う。
- ・医療保険の高額療養費制度や、住民税非課税世帯を無料としている市町村の状況なども踏まえた議論が必要ではないか。
- ・子の幸せを一番に考え、チルドレンファーストの視点を持って、それぞれ地域の実情に応じ、トータルでバランス良く、様々な取組を進めていくことが大切である。
- ・検討に当たっては、市町村の独自施策も併せて考えるべきである。
- ・経済的な理由により受診しない状態は、なくしていくべきである。

# 各市町村の子育て支援医療助成制度

参考資料

## (1) 通院

令和4年4月1日現在(京都府調べ)

府制度を上回る部分(対象年齢、自己負担額)

市町村	対象年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳 (就学前)	小学校		中学生	高校生	大学生	備考	
									小3まで	卒業まで					
京都府	通院	現物給付(200円)			償還(月1,500円超)										
京丹波市	通院	現物給付(200円)										償還(200円)		大学生は、大学等の教育機関に在学し、住民税非課税世帯の保護者に扶養されているものに限る。(22歳年度末まで対象)	
井手町	通院	現物給付(無料)												} 高校卒業まで 7市町村	
和東町	通院	現物給付(無料)													
南山城村	通院	現物給付(無料)													
伊根町	通院	現物給付(無料)										償還(無料)			
京丹波町	通院	現物給付(200円)										償還(200円)			
南丹市	通院	現物給付(200円)										償還(800円)			
久御山町	通院	現物給付(200円)										償還(1,500円)			
綾部市	通院	現物給付(200円)												} 中学校卒業まで 18市町村	
宇治市	通院	現物給付(200円)													
宮津市	通院	現物給付(200円)													
亀岡市	通院	現物給付(200円)													
城陽市	通院	現物給付(200円)													
向日市	通院	現物給付(200円)													
長岡京市	通院	現物給付(200円)													
八幡市	通院	現物給付(200円)													
京田辺市	通院	現物給付(200円)													
木津川市	通院	現物給付(200円)													
大山崎町	通院	現物給付(200円)													
宇治田原町	通院	現物給付(200円)													
笠置町	通院	現物給付(200円)													
精華町	通院	現物給付(200円)													
与謝野町	通院	現物給付(200円)													
舞鶴市	通院	現物給付(200円)										償還(1,500円)			
福知山市	通院	現物給付(200円)	現物給付(500円/日)・償還(月1,500円超)										住民税非課税世帯は中学生まで無料		
京都市	通院	現物給付(200円)	現物給付(1医療機関月1,500円。複数医療機関の場合は償還(月1,500円超))												

(2) 入院

令和4年4月1日現在(京都府調べ)

府制度を上回る部分(対象年齢、自己負担額)

市町村	対象年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳 (就学前)	小学校		中学生	高校生	大学生	備考
									小3まで	卒業まで				
京都府	入院													
		現物給付(200円)												
京丹後市	入院												償還(200円)	大学生は、大学等の教育機関に在学し、住民税非課税世帯の保護者に扶養されているものに限る。(22歳年度末まで対象)
井手町	入院	現物給付(無料)											} 高校卒業まで 7市町村	
和束町	入院	現物給付(無料)												
南山城村	入院	現物給付(無料)												
伊根町	入院	現物給付(無料)										償還(無料)		
京丹波町	入院													償還(200円)
久御山町	入院													償還(200円)
南丹市	入院													償還(800円)
京都市	入院													
福知山市	入院													
舞鶴市	入院													
綾部市	入院													
宇治市	入院													
宮津市	入院													
亀岡市	入院													
城陽市	入院													
向日市	入院													
長岡京市	入院													
八幡市	入院													
京田辺市	入院													
木津川市	入院													
大山崎町	入院													
宇治田原町	入院													
笠置町	入院													
精華町	入院													
与謝野町	入院													

住民税非課税世帯は中学生まで無料

中学校卒業まで  
18市町村